

花巻をもつとおもしろく！

青年まちづくり円卓会議

今、私が思うこと

があれば、いろいろな坦

■後藤明美さん イベントが増えて商店街が盛り上がるだけでなく、やはり住んでいて暮らしやすいまちがいい。まちづくりにも参加したいが、家事、育児、仕事に追われ、思うように参加できないのが実情。市内に子連れで行ける場所がないので、子どもと一緒にでも楽しめるところがほしい。

■新潟伸彦さん 農業の将来のことを考えると、年配の方の話を聞くことも大切だが、若者の話も大切だと思う。若者の意見は、これからの中づくりの新たな一步になると思う。

後藤 明美さん

■市長 行政の仕事は一口で言うと暮らしやすい環境をつくっていくこと。でも暮らしやすいだけではなく活気もほしいと誰もが思っている。自然豊かな中にも時には活気があるようなメリハリのある暮らしさやすさというのが地方都市の魅力。

今回は、活気づくりに欠かせない働き盛りの皆さんから率直な考え方を伺いたい。

■松葉孝博さん まちづくりには、「おもしろく」という考えがとても大切。自分の発想や発言が実際に向かえば、若者も責任を持つて発言するだろうし、やる気も起きる。それが花巻に住みたいという思いにつながる。

花巻には、ワクワクするような部分が少し欠けている。若者の意見が取り上げられるような雰囲気

市政への意見や要望などをテーマに、地域の皆さんや各種団体と意見交換する「まちづくり円卓会議」や「特定課題懇談会」を開催しています。また本年度は、各分野で活動している30代、40代の方々と「花巻をもっとおもしろく！～若者が活躍するまちづくり～」をテーマに、若者の置かれている現状や課題を確認しながら、まちづくりへの思いを語り合いました。ここでは、その内容について紹介します。

青年まちづくり円卓会議出席者 —

- 松葉 孝博さん(花巻商工会議所青年部)
 - 高橋 政紀さん(花巻市PTA連合会)
 - 後藤 明美さん(花巻商工会議所女性会)
 - 高橋 要さん((公社)花巻青年会議所)
 - 平賀 志麻さん(花巻地域婦人団体協議会)
 - 伊藤 充さん(太田地区振興会)
 - 新渕 伸彦さん(花巻農業協同組合青年部花巻地域青年部)
 - 昆 真喜子さん(花巻農業協同組合女性部フレッシュ部)

■ **昆真喜子さん** 団体の会員が減少し新規加入者もない。活動をPRしたいと思っている。ただ家事、育児から、なかなか家を出られないのも現実。そこをどうにかしていきたい。



昆 真喜子さん

平賀志麻さん 行事に参加するとき、育児との兼ね合いを考える。子どもが病気などになつたとき、助けてくれる人や施設がほしい。親がリフレッシュすることも大事。

「危険させていいない気がする。もう少し逞しく育てたい。街中に小規模でも子どもを遊ばせながら、親同士の交流やリフレッシュができるような公園がほしい。」
市内には働き口がなく首都圏へ

■高橋政紀さん 「花巻をスロー
て出て行く若者が多い。「花巻イコー
ル〇〇」というような市としての
魅力をもつと押していくべきで、
自分もこれからはまちづくりに関
わっていきたい。

■伊藤充さん 地元振興会のこれまでの会合にはなかなか人が集まらなかつた。男性は仕事、女性は仕事と子育てが理由でなかなか参加できない。休日は自分の時間に使いたいという気持ちと、誰かが



高橋 要さん

ツのまちにしたい。スポーツで元気にしていきたい」という考えに共感する。自分もスポーツ関係でいろいろな活動に取り組んでいるが、子どもの可能性は無限大なので、新しい技術や情報を教えることによつて伸びていく。そのような環境づくりに力を入れていきたい。

■**高橋 要さん** 例えればイベントでは、実際に足を運ぶことによつて知ることが多い。まちづくりにはこれが大事な要素。まずは参加することで、自分ならどうするかという意識が生まれる。さらに、自分が中に入つて企画するということなどが参画ということになると思う。このような仕組みがうまくできれば、もっと楽しいまちになる

団体の一員として思う

やつてくれるだろうという気持ちもある。

堅苦しい会議だけでなく、交流する機会や世代間の意見交換も必ず要だと実感している。

■伊藤充さん　自分が青年部長になつたきつかけは、若いからやつてみないかと言われたから。ほかに適任者がいると思ったが断れなかつた。実際やつてみると何をしていいか分からぬ。

■松葉孝博さん　やらされ感ではなく、「やつてみないか」と言われたら「俺でいいですか！」というような雰囲気の組織だといいと思う。花巻市全体がそのような雰囲気になれば面白いと思う。

く年齢の人たちも同じような悩みを抱えている。若い人や女性をもつと入れなければならぬといふが、すごく責任感を持つている。本当に誰も出てこないかといえど、そうではない。理想は全員だが、現実にはその何分の一しか出てくれない。しかし、それでも一緒にやってくれる人がいれば、それを大事にすることが必要だと私は思っている。自分のほかにもう一人来てくれたというくらいの気持ちでやれば、気持ちはいくらかでも楽になるのではないか。

大変忙しい状況なのに、皆さんはそれぞれの団体で頑張っている。各団体での活動の課題はどんなことでしょうか。

■市長 皆さんの団体ばかりでない。会員が集まらないのは、組織に従わなければいけないという意識があることに要因があるのでないか。まずは、聞く姿勢が大事。自分の話を聞き入れてもらうことはうれしいこと。

■松葉孝博さん やらされ感ではなく、「やつてみないか」と言わされたら「俺でいいですか！」というような雰囲気の組織だといいと思う。花巻市全体がそのような雰囲気になれば面白いと思う。

一緒にやつてくれる人がいれば、それを大事にすることが必要だと私は思っている。自分のほかにもう一人来てくれたというくらいの気持ちでやれば、気持ちはいくらかでも楽になるのではないか。